

No.155 2019 APRIL

平成31年4月26日発行



愛と復興

- 朝日診療所予算、私はこう考える … 3
- 新しい農業の形 ……………… 6
- 医師確保・県に緊急要望 ……………… 10
- 一般質問・10名が町政をただす … 13

発行：只見町議会広報広聴常任委員会

〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591番地30

TEL. 0241-82-5300 FAX. 0241-82-5222

E-mail: gikai@town.tadami.lg.jp

議会だより



只見町議会中継は、只見町議会
ホームページからも視聴できます。
←議会中継へ

泉太のどぶろく
(9ページに説明を掲載)

31年度 予算

■一般会計は、総額56億1,000万円で、前年度比3,200万円、率にして0.6%の増。財政健全化に努める一方、民具収蔵庫新築、新たな克雪対策や住宅の長寿命化工事など住民生活に配慮

予算の特徴

増額予算となった。

■町税は、前年度比850万円の減額見込み。一方、地方交付税収入は前年より約2億8,000円増額を見込んでいる。

■町債は、広域消防庁舎関連などが減少し全体では減額となった。

「みんなのお金」の使いみち

教育費は前年度比43%増

予算審議は
延べ4日間1,050分

3月会議が3月5日から14日まで開催されました。31年度の予算は、特別委員会による審査が行なわれ付託された予算案すべて意見を付し原案の通り可決されました。一般会計は、民具収蔵庫新築工事などによって教育費が大きく伸び、特別会計では、朝日診療所の予算に議論が集中しました。

31年度

主要
事業

子育て応援

学校給食保護者負担更に軽減

1,073万円

子育て支援の充実のため、年長・年中児童の保育料の無料化の継続と、学校給食の保護者負担の更なる軽減を図る。

31年度

主要
事業

地域文化の振興

民具収蔵施設建設

1億6,922万円

国指定重要有形民俗文化財「会津只見の生産用具と仕事着コレクション」収蔵施設を今年から2カ年で整備する。

3月会議（3/5～14…10日間）

3月5日…会期の決定、提案理由説明
各常任委員会 他
3月6日～8日…一般質問、議案審議
3月11日～13日…予算審議
3月14日…予算採決、請願陳情 他
散会

予算特別委員会 意見要約

- ① 補助金は不断の見直しを行ない、新規の補助は要綱などを決めることから提案すること。
- ② 空き家を含めた総合的な住宅政策に積極的に取り組むこと。
- ③ 公共的災害復旧工事は集落に負担を負わせないこと。
- ④ 医療スタッフの確保と待遇改善を進め町民の不安解消に努めること。

31年度

主要
事業

生活環境改善

簡易水道配管敷設替え
1億5,706万円

只見統合簡易水道叶津地区、黒谷不動堂白沢地区の管の敷設工事を行ない生活環境の改善を図る。

31年度

主要
事業

公共交通

雪ん子タクシー利用者負担軽減
2,324万円

只見駅～田島駅間を一日2往復するとともに、雪ん子タクシーの利用者負担の軽減と住民利便の向上を図る。

31年度

主要
事業

雪と暮らす

克雪対策補助金見直し
850万円

今までの克雪対策補助金（屋根の改修、井戸消雪などの補助）の拡充を図り、町民の冬の暮らしを支援する。

討 論

朝日診療所予算

私は、こう考える...

ポイント



看護師不足が新年度から入院などの医療サービスに影響する。町民不安を解消できる予算であるか。

私は **賛成**

目黒仁也 議員
課題解決に向かう予算
議会が求めた医師4名体制は盛り込まれた予算。今後予算執行の中で看護師不足などの課題解決に取り組む姿勢を理解した。

私は **賛成**

藤田 力 議員
否決は課題解決にならない
今町民は診療所の今後に大きな不安がある。否決は問題解決にならない。予算を議決し当局と議会が共に課題解決に努力すべき。

私は **反対**

山岸国夫 議員
賃金格差放置のまま
特に歯科の賃金格差は放置されたまま。将来展望を持って住み続けられる人口減対策に逆行する予算。

私は **反対**

酒井右一 議員
基本方針明らかでない
議会の求めと待遇改善が見えない予算。保健医療を積極的に模索する夢のある積極果敢な予算であるべき。議会軽視の予算。

私は **賛成**

鈴木 征 議員
町民が一番困る
予算否決は町民が診療を受けることができなくなる。診療所運営継続のため予算を通過させる必要がある。

私は **賛成**

大塚純一郎 議員
経営健全化を見すえた予算
診療所の経営健全化計画の目標値を見すえた予算と理解する。今後の当局の取り組みを信頼し賛成。

平成31年度各会計予算審議賛否

会 計 名	賛 否									
	酒井	佐藤	鈴木(征)	目黒(道)	大塚	中野	目黒(仁)	藤田	鈴木(好)	山岸
一 般 会 計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
国民健康保険施設特別会計	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
後期高齢者医療特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
介護保険事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
介護老人保健施設特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地域包括支援センター特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
簡易水道特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
集落排水事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
朝日財産区特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



町民の健康を支える朝日診療所



歳入の論点

町は固定資産税率について、標準を超える超過税率を長年採用してきたが、その増税分の使途が議論となった。

予算特別委員会

質疑応答

超過税率採用 増税分の使途は

固定資産税

固定資産税

問

年々減収傾向だが、その対策は。

答

ダム立地市町村の全国組織で償却率の変更など要望したい。

問

税率1.6%を標準の1.4%に戻せないか。

答

過去、2.1%もあるが1.6%まで下げてきた。厳しい財政運営の中で当面は現行維持したい。

問

超過課税分について、以前は診

療所に充当する方針で

問

きたが。

答

診療所の今の課題と、この超過課税は一緒にしたくない。

ふるさと納税

問

返礼品の拡充を。

答

湯ら里宿泊券も含め検討したい。

歳出の論点

補助金が年々増加の傾向にある。国の農業政策などによるものもあるが、町の政策によるものは、内部での不断の見直し検証が必要だ。



大規模固定資産税の大方を占める田子倉ダム



先月オーストリアで行なわれたスノーバレーワールドツアー

町制施行60周年記念事業

問

50周年記念植樹の反省を踏まえて

答

植樹・育樹に関して集落に希望をとる。

客促進事業委託料

問

スノーバレー世界大会の開催を含めた今後の方針は。

答

まず世界大会の内容を調査する。

空き家対策

空き家対策の進め方は。

問

国の法律を踏まえて町の諸規定を見直し対策を進める。

移住定住コーディネーター

問

活動内容は。

答

移住希望者の情報提供などを行なう。

町職員研修

問

湯ら里での接客研修を。

答

以前からの課題でもあり検討したい。

電気料の減額

問

只見振興センターの電気料が安くなったが。

答

電力自由化により一般競争入札を行なった結果だ。

**議会の
視点**

人口減少対策に思い切った投資を…
地方創生が始まってはや5年。国道289号八十里越の全線開通もそう遠くない。それを見すえた交流人口増による町の活性化を目指しているが、受け皿対策など議会はスピード対応を求めている。



元気に作業する入所者（こぶし苑）

年々増加傾向

内部検証を

補助金

負担金・補助金

問 負担金・補助金が年々増えているが。

答 役目を終えた補助金は検証することは必要だ。時として大胆な補助政策の必要もある。費用対効果を考慮し対応していく。

問 リハビリ人件費

答 こぶし苑人件費の減額理由は、昨年9月に職員が退職。

稲作農家育成支援補助

問 共同で3haという面積では小規模農家が救えない。

答 国の指針もあるが、なお検討する。

道の駅基本計画策定委託

問 今から、販売できる商品の開発を。

答 米のブランド化と6次化商品の磨き上げを行なう。



明和保育所入所式

住宅政策

問 住宅促進の答弁があったが予算に反映しているか。

答 31年は沖住宅募集、民間借り上げ1棟4戸計画。次年度以降、明和地区、朝日地区を検討する。

問 宅地造成の考えは。

答 空き家跡地等を含め検討したい。

問 万代橋

答 今後の町の負担はあるのか。

子育て広場

問 31年度から振興センターに移管

されるがなぜか。

答 地域の子どもは地域で育てるという考え方が主にあります。

問 只見小学校体育館改修工事

答 耐震補強工事後、何年もたないうちに工事する理由は。

答 前回、一部のロックウールを撤去したが、今回は全部撤去するため。

問 野球場防球ネット

答 駐車場側だけでなく町道側もかさ上げすべき。

問 検討する。

29年農地災害復旧

問 なぜ国庫補助金を受けず自主財源で行なうのか。

答 作付けを優先し早期に復旧できるように、自主財源とした。

問 今後の災害対応の在り方は。

答 集落対応に限界があり、見直しを検討している。



完成後は町管理となる万代橋

補正 予算

只見地区に稲作共同施設 新しい農業の形



小学生を対象とした稲刈り体験

耕作放棄地 解消に期待

提案された平成30年度一般会計補正予算(第10号)は、規定の予算から1億5,100万円を減額する補正予算が可決された。

中でも、国の2次補正による農業振興関連の補正が目玉で、総額9,500万円の補助金が予算化された。

高齢化で危惧されている耕作放棄地の解消や6次化の加速を目指す。

稲作共同作業施設整備補助金7,000万円

耕作放棄地解消を目指して稲作農業の維持が難しくなっている。国の補正予算を受け、只見地区に稲作共同作業施設を建設。只見地区3農家が共同で運営し、50haまでの対応で耕作放棄地の解消を目指す。



6次化施設整備補助金2,500万円

「ねっか」の醸造施設増設を支援。梁取地区で見産米を使用した米焼酎を製造している合同会社「ねっか」。量が課題であったが、国の補正予算を受け、醸造施設の増設を行ない生産の拡大を目指す。



担い手確保経営強化支援補助金700万円

稲作機械・トマトの施設整備を支援。この度の国の補正予算を受けて町内2軒の農家(梁取地区、小川地区)へ機械や施設整備の支援を行ない担い手育成と経営の強化を図る。



大型農業関連 補正の経過

国の平成30年度一般会計第2次補正予算の内、農業関連では、T P Pの早期発行に対応するための強化対策として、農家の所得向上支援や意欲的な担い手に対応する機械設備の補助などが組み込まれました。

こんな質問がありました

農業振興県補助金

問 小規模農家の支援は、31年度予算で検討するということだったが。

答 小規模農家も共同化で3haを目安に新たな補助を新年度予算に提案しているので審議願いたい。
防災行政無線デジタル化工事

問 減額の理由と減額補正の時期が遅くないか。

答 工事の請負差額によるもの。入札は6月決定している。今後十分注意する。
広域市町村圏組合消防費負担金

問 減額の理由は。

答 消防庁舎建設の請負差額と事業の繰越による。



小規模農家支援も

町／新年度に新たな制度提案

議会の視点

ふるさと交流費

問 柏市との交流が年々薄くなっている。柏市からの来町プランなども交流会議で協議すべきだ。

答 ご意見よく理解できる。今後協議したい。
克雪対策事業補助金

問 実績のベスト3は。

答 屋根の融雪施設、屋根の改良、井戸消雪の順となっている。

問 朝日診療所経営スタッフの減が経営健全化計画の数値にどう影響するか。

答 今看護師を募集している。採用があれば改善もある。3カ年の計画見直しも今後たてる。

財産

以下の財産貸付議案が可決された。

建物 田子倉字後山604-18（田子倉レークビュー）
 貸付相手 合同会社ねっか
 貸付期間 平成31年4月1日～平成32年3月31日

船舶 遊覧船ブルーレイク、モーターボートハヤブサ
 貸付相手 株式会社ただみ振興公社
 貸付期間 平成31年4月1日～平成31年11月30日



繰越明許事業と繰越金額

事業名	繰越金額
庁舎暫定移転事業	1億3,485万円
公用車購入費（2台）	719万円
子ども子育て事業計画策定事業	356万円
道路補修事業	800万円
道路新設改良事業	2,175万円
道路橋梁長寿命化事業	1,000万円
集会施設整備事業	292万円
防災行政無線デジタル化事業	1億2,204万円
農地農業用施設過年度災害復旧事業	666万円
林道過年度災害復旧事業	7,991万円
公共土木過年度災害復旧事業	565万円



防災行政無線鉄塔

繰越明許

承認された繰越事業

3月会議において、昨年度から新年度へ繰り越しされた事業は次のとおり。

繰越明許とは

本来町の事業は、その年度で事業を完了させることが原則とされています。繰越明許費とは、理由によってその年度内に終わらなかった事業を翌年度に財源を繰り越して事業の実施を認めるもの。

聞いて・話して・考えた

交流施設調査特別委員会

最終報告



議会活動 レポート

千載一遇のチャンス到来
交流人口拡大策に邁進すべき



亀岡サンドバレーコートから見た湯ら里や比良林公園



亀岡スポーツパーク



比良林公園のサラサドウダン

最終報告要点5項目

- 代表取締役の変更など、湯ら里管理体制の見直し強化
- 個室など宿泊収容能力の拡大
- 亀岡スポーツパーク、比良林公園などの周辺拠点整備
- 仮称「只見まちづくり推進会」による官民一体となったまちづくりの具体化
- 実現可能な「観光戦略」の策定

議会の視点

議会は、過去に経験のない環境変化を前に、その受け入れ態勢として町の交流拠点である湯ら里のリニューアルと、周辺施設の整備も進め滞留人口の新たな拠点整備を求めている。

本町は、地方創生を進めていく中で大きな環境変化を迎えようとしている。当委員会では、交流促進センターとして湯ら里が果たしてきた役割、そして今後の発展的なあり様について協議を重ね、来期以降早急に取り組みすべき内容として報告を取りまとめた。

南会津地方広域市町村圏組合議会

2月19日に議会定例会が開催され、一般会計補正予算は、5億4,300万円の減額で、主要因は消防新庁舎建設工事の工期が32年度まで延期になったためである。地域医療支援センター特別会計補正予算は今年度で廃止になる。平成31年度一般会計予算は、歳入歳出総額18億7,623万円、ふるさと市町村圏事業特別会計予算307万円等、議案14件すべてを原案の通り議決した。只見町の負担金は、前年比3,629万円減の3億9,200万円である。

南会津地方環境衛生組合議会

2月19日議会定例会が開催され、平成30年度補正予算増額の主な理由は、昨年10月から新電力と契約したためである。平成31年度一般会計予算は、歳入歳出総額9億8,230万円で前年度当初予算と比べ、3,212万円の減額。主な理由は、今年度実施したクリーンセンターの修繕が完了したため。議案はすべて原案の通り可決された。只見町の分担金は、前年比488万円減の1億2,526万円となった。

議長動静

12月21日 浅雪の中での只見スキー場オープン式／今年は浅雪でスキー場のオープンが心配されましたが、大勢の関係者によりスキー場オープン式典が行なわれ、今シーズンの安全を祈願しました。



「いいまち」をつくるため 調査研究

総務厚生常任委員会

■只見～田島もジャンボタクシー

雪んこタクシーの利用料金500円が4月1日から200円に改定される。今までの観光ツアーバスが只見～田島間を定時定路線のジャンボタクシーとして運行される。1日2往復、料金1,500円、町内停留所23か所、南会津病院～田島駅に停まる。



定期路線ワゴン「自然首都只見号」

■朝日診療所の医療スタッフ体制充実を

医師については、現状の4名体制を堅持するよう万全を期してほしい。

看護師については、定年等により不足が心配される。募集しても応募がない状況が続いている。町内広報にとどまらず、広範囲な取り組み、しかも早急な実行を求める。

■こぶし苑の給食について

受託している(株)ニッコクトラスト調理スタッフの不足により、撤退希望が出された。当面、委託料の増額等により、31年度までの1年間延長する中で、冷凍食材導入等について検討していく。将来的に不安であり、更なる検討を求める。

経済文教常任委員会

■本町の最重要課題は、人口減少対策と当局も議会も捉えている。当委員会では、本町における誘致企業等の雇用確保を図り、移住定住を促進して町の活性化を図るため、事業者が町内に社宅等を整備する際の経費の一部を補助するための事業者支援策について、調査をしている。



今年完成した只見沖住宅

■本町では現在誘致企業を中心に、数社の企業で十数人の外国人研修生が就労しており、更に増える可能性がある。受入れ住民の対応について基本方針を早急に制定し、地域連携体制を整備すべきだ。



地区イベントで紹介された外国人研修生



どぶろく特区の許可を取得して12年、「泉太のどぶろく」は地域の伝統的なお酒として親しまれています。取材当日はどぶろくを始めようとする方が視察にいられていて、先進事例にもなっています。昨年暮れに新商品もできました。「柏市など県外のPRに持って行くと喜ばれる。もっと只見町をPRするイベントを企画して欲しい」と笑顔がこぼれる泉太さんでした。

入叶津
佐藤泉太さん

表紙の写真

看護師不足で医療サービス縮小に…



早くから予見できたはず

全員協議会



県担当者に強く要望

現行の医師4名体制を要請



要望書

それを受け、議会は町長とともに3月25日、福島県保健福祉部医療人材対策室を訪れ、医師と看護師の確保を強く要望してきた。要望活動は目標が達成されるまで継続する。

朝日診療所医師確保 県に緊急要望!

あらまし

議会は、昨年12月に診療所本来の在り方と、職員の確保、及び待遇改善を提言してきました。しかし、2月15日の全員協議会において、医師が1名、看護師が3名減ることによって、「入院患者の受け入れ数の減少」と、「訪問看護体制の縮小」が見込まれるとの報告が町長よりありました。

議会は診療所の今後のあり方として、町内の家庭が抱える保健や医療全般をケアする一次医療機関を目指すこととしている。そのためには、医師4名が必要であるため、県に緊急要望することを決めた。

こんな質問がありました

問 医師、及び看護師の不足は早くから予見できたはずだ。今までのような募集方法を実施したのか。

答 医師は県から2名、福島医大から2名、計4名を依頼していたのだが、県1名、医大2名の方針で進んでいる。看護師については昨年からの募集をかけているが、応募者がいない。

問 応募者がいない原因を分析しているか。年齢制限や報酬の検討も必要なのではないか。

答 給与の問題は町の給与体系に照らして積算している。特殊なやり方も検討しているが、難しい課題だ。年齢制限に関しては、退職者などにも声

をかけ、看護師の人数を確保したい。

問 なぜ最初の看護師募集年齢を30歳以下としたのか。最初から年齢を引き上げれば、該当する応募者は実際にいた。

答 先生とも相談し、現状の看護師の年齢バランスから若い看護師が必要と判断した。

問 特別委員会で提示したプライマリ・ケア（地域医療）の実現のためにも現状の医師と看護師の人数は必要だ。どう考えるか。

答 今後も医師、看護師の確保に努めたい。

町民の声が届くまで

町民の声を聞く

委員会等でしっかり議論

改善の提案

予算化



町民25名の

熱い声!

一般 会議

住民懇談会開催2月24日 明和自治振興会

「人口減少に歯止めをかけ、元気な町を作るにはどうするか。」をテーマに活発な意見が交わされました。外国人研修生に対する受け入れ体制の在り方、危険空き家対策、更には289号開通に向けた道路整備のお願い等、早急に対応すべき貴重な意見を聞くことが出来ました。(町民の皆様との懇談会を受け付けています。)

運転免許返納後、田島や会津若松へ行く交通手段の確保が大変だ。



熱い議論が交わされました

「買い物支援バス」は本来、町が考えるべき政策ではないか。



外国人技能研修生受け入れに対する町の基本方針と具体的な対応策を示してほしい。



塩ノ岐地区における土砂災害危険箇所の対策をお願いしたい。



危険空き家に対して、町へ相談に行っても何も対応してもらえない。



誘致企業に対する住宅支援政策は慎重に審議してほしい。



町長はもっと地域に足を運んで住民の声を聞くべきだ。



若い夫婦の住める住宅がない。計画的に建設すべきだ。



国道289号明和橋の架け替え運動の促進を望む。



恵みの森・癒しの森へ通ずる道路の改良を望む。



少子高齢化が進む中、小学校の統合も考える時期ではないか。



町民の声が議会を動かす こんな意見が出されました

その他に多くの意見をいただきました。皆様ありがとうございました。



ブナりん

教えて! 議会のこと

Vol.19



アカシヨウちゃん

『通年議会』ってなあに?



イワっぺ

只見町キャラクター ©Tadami

みんなに代わって只見町のキャラクターたちが聞いてくれました。



ブナりん 議会は毎日やっていると聞いたけど本当なの?

議長 さすがに毎日はやっていないけど、いつでも会議が開ける仕組みなんだよ。



アカシヨウちゃん 大変そうだけど、いいことはあるの?

議長 いつでも会議が開けるので、災害などの緊急時に素早く対応できるんだよ。通年議会では、休会中でも主体的に委員会を行ない、町づくりなどについていつでも相談できるんだ。

ブナりん なぜなの?

議長 通年議会では、閉会がないのでいつでも会議が開けるんだ。一方、通年議会を採用していない場合は、会議の開催には手続きが必要なんだよ。

イワっぺ 実際には年間何日くらいやっているの?



議長 3月、6月、9月、12月の定例月以外にも委員会活動があるから、平均すると延べ140日くらいになるんだよ。

ブナりん えー!そんなにやってるの?僕にもできるかな?

議長 一生懸命取り組みれば町も良くなるし、やりがいも大きいよ。是非、一緒にやろう!



只見町議会中継は、
只見町議会ホームページからも
視聴できます。





一般質問

- **大塚純一郎** 14
エコパークブランドの活用策は
- **目黒 仁也** 15
スノーバレー世界大会誘致を
- **佐藤 孝義** 16
道の駅基本構想の予算・規模は
- **鈴木 征** 17
道の駅整備に向けての進捗は
- **酒井 右一** 18
朝日診療所、これからどうする
- **藤田 力** 19
新役場庁舎はいつ建設するのか
- **鈴木 好行** 20
危険空き家への町の対策は
- **中野 大徳** 21
旧役場庁舎解体後の跡地計画は
- **山岸 国夫** 22
難聴者への補聴器購入補助を
- **目黒 道人** 23
サービス業への経済振興対策は

一般質問とは

議員が行政全般(役場の仕事全般)に対して、方針をただしたり政策の提言などを行うことです。

町政を問う

町を想い10名が

エコパークブランドの活用策は



おおつかじゅんいちろう
大塚純一郎議員

答 活用方法は工夫次第で可能

問

エコパーク登録になって5年になろうとしている現在、只見町が取り組んでいる事業は何か。待ったなしの町の活性化策が求められている。特に産業振興の上で農業、林業、商業、観光などでの具体的な取り組み策を問う。

答

昨年10月に全国ブナ林フォーラムを開催し、自然首都・只見宣言を行なうなど、全国に発信している。今年2月には、ふるさと交流都市である柏市においても、只見

ユネスコエコパーク展を開催し、広くPRしてきた。新年度には、新潟大学農学部教授の崎尾均氏による講演会を企画するなど、あらゆる機会を捉えて町内外に幅広く情報発信していく。

問

農業など産業分野におけるブランド活用については、商品と直接的に結び付けることは文部科学省から制限されているが、活用方法は工夫次第で可能と考えている。町内6戸の米農家が国の認証制度であるJGAP（農業生産安全工程管理）の認証を受け、只見米ブランド協議会を立上げ、オリジナルパッケージと販路により米のブランド化に取り組んでいる。

問

町内には、6農家の他にたくさん

町がブランド米としての只見産米の魅力、価値を高めて、中小農家のやる気、意欲を高めていただきたい。

答

国の補助事業である中山間地域ルネッサンス事業の取り組みを進めていきたい。

町内における人材不足の対応策は

問

毎週町内全戸に配布されている只見町無料職業紹介所求人情報で、毎回10件程度掲載されているが、求人に対して応募する人がいない人材不足の状態が続いている。

答

U・Iターナー者の就業対策を進める

これに対して町としてどのような対応をすべきと考えるか。

答

町の生産年齢人口の減少等により、町内での雇用確保は大変厳しい状況にあると認識している。新

たな雇用を確保するためには、U・Iターナー者による就業対策を推進していく必要がある。本年度内に移住・定住推進プランを策定し、総合的な取り組みを展開していく。



只見産米のオリジナルパッケージ

スノーバレー世界大会誘致を

答 大会内容調査したい

問 八十里越の開通など大きな環境変化の前に交流拠点として建設された湯ら里や亀岡スポーツパーク等の整備を加速させ、誘客増に向けた体制を整える必要があると考

答 湯ら里については、議会交流特別委員会の報告も頂い

ているので検討しなければならぬ。スポーツパークについては、新年度現在の管理棟の改修を予算提案しているが、今後の利用状況を踏まえていきたい。

問 湯ら里改修の方針はいつ頃できるのか。
答 八十里越や会津南縦貫道の開通

などで大きな環境変化が来るものと考えている。年度内には方針を出したい。

問 先日亀岡ビーチバレーコートで只見スノースポーツフェスタ2019があった。開会式後関係者と

懇談する機会があり、スノーバレーが今後五輪種目となることやここ只見での世界大会開催について話題が及んだ。交流人口対策として推進しないか。

答 突然だが、大会の規模や内容に



議員 仁也 黒目



ワールドツアー・スノーバレーボール大会 (FIVB ホームページより)

「じねんと」の31年度運営方針は

答 公募型プロポーザルにより受託者選定する

問 ついて調査したい。今の行政運営の姿勢は、とにかく支出を抑えて縮小型の運営だ。財政重視は理解できるが、もう少し投資的な概念でこの人口減少対策に望んで

答 いただいた。現在の財政は暫定移転等の投資で若干弱くなっている。しかし、やる時はやると考えている。そこはご理解をいただきたい。

問 昨年9月に質問した地域活動支援センター「じねんと」の31年度の委託運営方針を問う。

答 新年度からは、支援センターとしての型をⅢ型に変更し、受託事業者を公募型プロポーザル方式で選定する方向に進めたい。

問 そういふ結論に至ったのは、どのような経過からか。

答 現状の利用状況からⅢ型で十分対応できると判断した。

道の駅基本構想の 予算・規模は



議員 高橋 孝義
さとう 藤孝

答 現状では示せない

問

昨年12月基本構想の説明があつたが、場所ありきで建設優先としか思えない。基本構想では、運営主体は3例挙げられているが、建設予算や規模は。

答

現状では示せない。場所は、観光開発審議会で協議中。

問

情報では道の駅の車の入込は、通行量の15%で一人当たりの購入金額が500円、陳列商品は2千〜3千品種が採算ベースと言われている。地元産の山菜を含む農産物の

確保、特産加工品の開発が優先では。

答

J Aとも協議しながら、柏市、三条市などと連携、特産加工品は、只見特産とも連携して、新商品の開発を検討する。

問

今後継続的に運営していく上で、今から優秀な人材を確保して専門知識を学ぶ等の人材育成が必須では。

答

重要と認識し、公募を行なうなど人材の確保・育成に努める。



地元産品の開発には欠かせない只見特産

只見特産を活用し地元産品の開発を

答 J Aの動向を踏まえて慎重に検討

問

只見特産は、農水産物加工品の開発に欠かせない会社と考える。近年、町は株主として只見特産に取締役を送っていない。今後役員を入れて経営に関与するつもり

答

はないか。連携強化の観点から只見特産と協議の上検討する。

問

筆頭株主であるJ A会津よつばも子会社等の見直しを検討していると聞く。

答

J Aの動向を踏まえて慎重に検討していきたい。

只見高校振興対策の見直しは

答 関係団体等と協議していく

問

1学年1学級になっても県立只見高校への山村教育留学制度を継続するのか。

問

少子化が進む中、只見高校を町立化して、中・高もしくは小・中・高の一貫校としては。

問

只見高校振興対策については、見直す機会ではないか。

答

県の実施計画を踏まえて、只見高校との新たな連携の在り方は、関係団体等とも協議しながら考えていく。

答

今後もし只見中学校の卒業予定者が少ないので高校存続のため、継続が必要。

答

県の動向を注視し、本町における利点をかんがみ、在り方を探っていく。

道の駅整備に 向けての進捗は

答 基本構想策定に向けて検討中

問 道の駅整備に向けて現時点で想定している全体スケジュールは。

答 現在、観光開発審議会を開催し、道の駅基本構想の策定に向けた検討を行なっており、平成31年度に基本計画、32年度に基本設計、33年度に

実施設計をそれぞれ策定し、34年度から工事に着手し、35年度中のオープンを目指していきたい。

問 自主財源だけでは負担が重くなることから、補助金等を活用すべきであるが、整備にあたっての財源計画は。

これからの道の駅は地方創生の核となる役割が求められるが、通常の機能に加え、特徴的な新たな機能を付加する考えは。

答 ユネスコエコパークとして国際的にも評価された雄大な自然環境や豊かな生活文化、国内外に高い人気を誇るJR只見線など地域の宝をしっかりと生かし、本町の地方創生の核となる施設を目指して具体的に検討したい。

答 現時点で、具体的な財源計画を示せないが、有効な補助制度と優良債を併せて活用し整備計画を策定したい。

問 これからの道の駅は地方創生の核となる役割が求められるが、通常の機能に加え、特徴的な新たな機能を付加する考えは。

ユネスコエコパークとして国際的にも評価された雄大な自然環境や豊かな生活文化、国内外に高い人気を誇るJR只見線など地域の宝をしっかりと生かし、本町の地方創生の核となる施設を目指して具体的に検討したい。



すずき 鈴木 征 議員

八十里越開通に向けた道路改良は

答 改良工事の重要性は認識している



国道289号八十里越工事状況(平成30年夏)

問 JR只見線再開通及び八十里越開通に向けた海外からの誘客についての考えは。

答 観光施設での多言語表示やコミュニケーションボードの設置を推進する他、奥会津振興センターと連携しながら受け入れ態勢の構築に努めたい。

問 八十里越開通に向けて、町内の国道改良が必要な場所が多くあると感じる。現国道改良について、現

現道の危険箇所等の改良工事の重要性は認識しており、現在只見駅前から只見駐在所までの「田中工区」については、31年度に交差点部分の改良工事に着手する。町民の安全・安心を確保するため、必要な改良工事を速やかに行うよう、県に対してしっかりと要望していく。

段階で工事計画はあるか、また県にも強く要望していく考えはあるか。

答 現道の危険箇所等の改良工事の重要性は認識しており、現在只見駅前から只見駐在所までの「田中工区」については、31年度に交差点部分の改良工事に着手する。町民の安全・安心を確保するため、必要な改良工事を速やかに行うよう、県に対してしっかりと要望していく。

朝日診療所、 これからどうする



さか い ゆう いち
酒井右一議員

答 医療スタッフ確保し、原状回復したい

問 昨日、診療所機能の縮小案が示された。これによると診療所は危機的事態である。

答 町長は議会本会議で町民に事態を説明する責任がある。

問 4月から看護師などが不足するので機能を縮小せざるを得ない。

答 先の説明では、訪問診療やリハビリの中止、内視鏡検査、入院の制限（入院8床まで）など、重大な機能制限だ。医師も減ると言う。この事態

を町長は1年以上前から知っていた。職員不足がもたらす診療所の機能縮小は医師から強く警告され、議会も早くから対策するよう申し入れていた。

問 事態が改善するよう努力している。

答 診療所の職員採用や人事は町長の通常事務であり、経常事務の範疇だ。突然起きた問題ではない。

問 これは怠慢した事務の結果だ。私はこれからの診療所、あるべき姿はどうあるべきかを問うている。

答 まず、医療スタッフを確保し現状を回復する。

問 それはあるべき姿、基本方針ではない。議会が議決した「診療所のあるべき姿」を町長がどう具体化するかという事を聞

いている。診療所は総合診療科を標榜しプライマリ・ケアを目指すべきだ。これまで議会は特別委員会を設置して半年間真剣に研究した。若山診療所長をはじめ、福島医大の葛西教授も参加している。12月に議員全員一致で議決した通りだ。

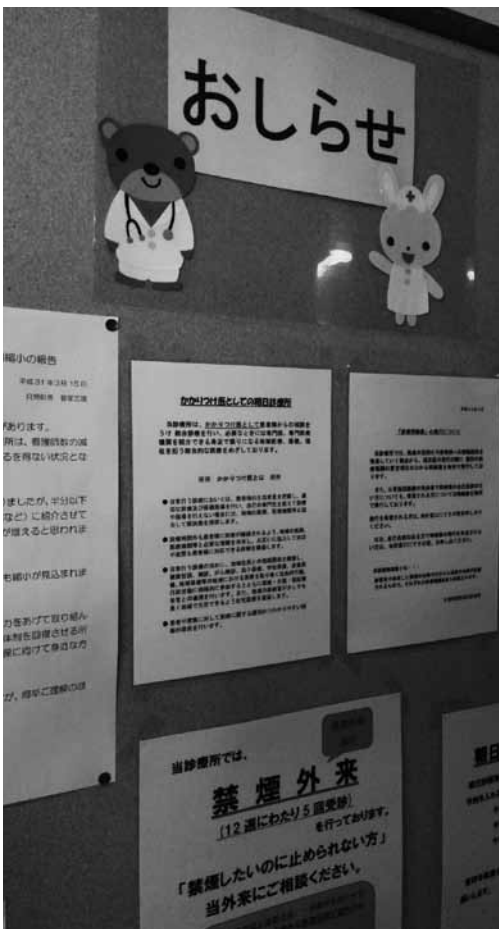
問 診療所の医科の区分（専門科）については今後検討する余地がある。

答 総合診療とは病気の予防や医療相

談、健診、医療やリハビリ、そして認知症ケアなど地域や家庭が抱える保健医療全般にわたる地域包括システムであり、医療が地域住民の人生に寄り添う「二次医療」が完成された姿だ。

問 町長は診療所特別委員会報告書を読まれたのか甚だ疑問だ。

答 南会津病院と連携しながら医療スタッフを確保し、診療所の基本方針を模索していきたい。



診療所の様々なPR

新役場庁舎はいつ建設するのか

答 いつやるかは明言できない

問 暫定移転工事の発注もほぼ終わり、旧役場庁舎の解体も進み、夏には整地完了と聞く。新役場庁舎はいつ建設されるのか、計画年次も含め伺う。

答 町長就任時に表明した「身の丈に合った庁舎」を検討

する考えに変わりはないが、暫定移転の途中であり、お示しする段階ではない。

問 町長は暫定という言葉をどう理解されているか。

答 旧庁舎から回避すると理解している。庁舎も必要だが、それより先にやるべき

ことがある。舵を切り替える必要があると考えている。

問 町長就任時に、広報ただみや湯ら里での新年交歓会でも述べている。旧庁舎解体時には、建設プランができると思っていた。多くの町民も。舵を切ったなどという話でなくて、もっときちんと態度表明するべきだ。

答 就任当時、いつという表明はしていない。全体の町づくりの中で庁舎について考えていきたい。

問 確かに今の町には課題が多く、役場を解体したまま建てる見通しも無い。町民も肩身が狭い。分散庁舎でなく町民が誇れる庁舎を建設し、職員と一緒に課題解決にあたるべきでは。

答 役場の場所を動かすつもりはない。解体後に想定される敷地は残したい。建設については、いつやるかは明言できない。



ちから 議員 田 力 藤

JR只見線の景観向上対策は

答 町費投入をためらわず実施



解体される旧役場庁舎

問 只見線沿線の魅力の向上のため、官民挙げて景観向上に取り組むと報道されている。沿線の杉林が育ち、撮影の妨げになっっている場所も多い。所有者の協力、伐採をするためには、町は補償などもすべきと考える。

答 只見線の再開通までに必要な場所、町費投入をためらわず実施したい。

問 叶津には、沿線に鉄橋、蒲生岳、只見川など三島の第一橋梁に負けない撮影ポイントがある。杉林を伐採して遊歩道を整備し、鉄道写真家を呼び込む作戦を展開すべきと思うが、整備計画はあるか。

答 町内14箇所の景観整備を予定。今後、地権者との協議や支障木の伐採に取り組む。

危険空き家への町の対策は



議員 鈴木好行

答 審議会等の意見を聞き対応する

問 現在、町に特定空き家（危険空き家）に該当する物件は何軒あるか。また、該当物件に対し、どのような対応をしてきたのか。

答 特定空き家に該当する物件は2軒ある。1軒は所有者に対し、助言・指導並びに面談による現況調査を行なってきた。もう1軒は所有者が居所不明で対応が困難な状況だ。

問 2軒だけとは思えない。どのような調査をしているのか。

答 集落等において調査を実施しているが、他の業務等に追われて進んでいない。次年度、体制を整え早めに調査したい。

問 梁取地区で、危険空き家対策を町にお願いしても対応してもらえず、区長が対応した事例がある。どう考えるか。

答 その情報を入手していなかった。今後こういうことのないように内部協議を徹底して対応する。

問 危険空き家の所有者に対応を求め、所有者が町外にいる場合、すぐに対応できない状況にある。町の条例には「所有者の了承を得れば町で緊急安全措置を取ることができるとある。なぜ実施しないのか。

答 従来も直接所有者に連絡し、町

が対応した事例があるが、今後は徹底した対策を取りたい。

問 危険空き家の所有者には、経済面の問題で解体できない人もいる。町で代行等を実施する考えはあるか。

答 今後審議会等の意見を聞きながら、実施する場合は、十分検討し慎重に対応したい。

自然を利用した子どもの遊び場を

答 環境づくりは必要

問 議会報告会で3地区から「子どもを安心して遊ばせられる場所が欲しい」との声があった。整備する考えは。

答 プナセンターの観察の森や豊かな自然の中で保護者やガイドの下で楽しんでほしい。

問 現況の川や山で遊ばせるまでの周辺整備が必要と思われるが。

答 そういった環境づくりは必要と考えている。

問 農村公園等の遊具の安全点検は。今後遊具等の整備計画はあるか。

答 遊具の点検は専門業者に委託して実施している。遊具の整備は集落と協議しながら修繕や更新をしていきたい。



スノースポーツフェスティバル 2019(亀岡)

旧役場庁舎解体後の跡地計画は

答 今後商工会等と協議していく

問 役場庁舎の暫定移転はほぼ終了し、旧役場庁舎は本年中に解体される事になった。本年夏には更地となり、只見地区のメインストリートに広い更地が出現する事となる。数年後には、只見線、国道289号八十里越が開通するが、旧役場庁舎の解体後の跡地計画は。

答 只見駅前から只見駐在所までの田中工区については、31年度に交差点部分の改良工事に着手し、引き続き道路の拡幅改良工事を進める。言われる通り、旧役場庁舎の解体により広大な更地が生じる事となる。この土地を含む駅前通りの土地利用については、只見駅舎の商業複

合化、国道改良による中心市街地活性化、道の駅的交流商業施設事業計画の三つの柱となり、旧役場庁舎を含む広大な敷地のゾーニングは、イベント広場、役場新庁舎及び道の駅的商業施設として整理されていた。しかし、同計画策定時点から状況が大きく変わってきた。旧役場庁舎解体後の跡地利用について、今後商工会等関係機関とも協議しながら早急に検討する。

等を実施しながら、その中で方向性を示し理解を求めていきたい。

問 先般、会津坂下町が福島民報に「攻めの町政求める声」という記事で紹介された。当町も積極的に跡地利用計画を作るべきだ。

答 方針を決めたら最優先で取り組んでいきたいと考えておるので協力をお願いしたい。

問 町長は、役場庁舎より先に人口減少対策と言われた。町民に説明する考えは。

答 住民周知とかについては、新年度に入り、集落座談会

議員 徳大 野中



解体中の旧役場庁舎

難聴者への 補聴器購入補助を

答 身障者手帳持参者への補助あり



やまぎしくに お 議員
山岸 国夫

問

年齢を重ねると難聴になり、会話が困難になるのが見られる。認知症予防には楽しい会話や口の運動思考を通して、筋力や活動低下の予防に役立つ。難聴者への補聴器購入の補助制度創設を提案する。

答

身体障がい者手帳を持っている方は補聴器購入補助制度あり、課税世帯は購入費用の1割が自己負担で上限が37,200円、生活保護世帯や非課税世帯は全額公費負担となっている。

問

福祉政策の面で提案している。難聴で身体障がい者手帳を取得できることを周知すること、また町の独自処置も同時に進めてほしい。

答

おしらせばん等で周知を図る。町独自については、実態調査も踏まえ検討する。

子育て支援策の拡充方針は

答 給食費を7割軽減する

問

子育て支援として、これまで小中学生の給食費・保育料の無料化、必要保護世帯の小中学生の入学前の就学準備金支給・基準額の拡大を提案してきたが、どのように充実させるのか。

答

保育料は本年度4歳児以上無料化している。給食費は31年度から7割軽減で一食当たり小学生180円・中学生200円軽減を図る。保健師に

問

よる妊産婦や新生児などの訪問活動を充実させることにより、育児不安などの解消や相談しやすい環境づくりに努める。

答

国は10月から3歳児以上の保育料無料化を検討している。町の負担分が減り、その分で1歳児からの無料化もできるのではないか。

問

放課後児童クラブの町の計画では31年度達成となっているが、進捗状況は。

答

児童クラブは設置に至ってな

問

小中学生の只見スキー場リフトのシーズン券を無料支給する事を提案する。南会津町は実施している。

答

学校行事のリフト代は町で負担している。前向きに検討していく。



只見小学校学校給食

サービス業への 経済振興対策は

答 町内周遊体制の構築を進める

問 高齢化や人口減少により、商業面で特に地域の活力が低下していると感ずる。サービス業に対する具体的な経済振興対策について町長の考えを伺う。

答 本町は広く、商業の集積が困難な環境にある。また、

人口減少に伴う消費縮小や車社会の進展による購買力の流出が顕著であり非常に厳しい。今後は旅行タクシープランや定時定路線バスなどを活用した町内周遊体制の構築を進め、経済の活性化を図っていく。

問

飲み歩く若者がいなくなった、

と町の声をよく聞く。

飲食店が点在している

ためはしご酒が困難

だ。当たり前に受け入

れているが飲み会をす

るにも送迎の段取りが

要る。店の送迎は売上

を削るコストでしかな

い。両者を解決するた

め、例えばタクシーチ

ケットによる補助を提

言したいが、どうか。

答

個人的な飲食に

助成はできない。

おっしゃるとお

りだ。私もそう

問

思うが、地理的なハン

デイキャップはどうし

てもあり、特殊な前提

を踏まえて検討してい

ただきたい。そもそも

冷え込んだ停滞した町

のムードをどう感じて

いるか。

答

どうしても夜が

暗い感否めな

い。しかし、プロジェ

クトチームの中では大

学生を招き、町民と交

流しながら賑わいを創

出する事業ができない

かと議論している。



議員 黒道 目



賑わいを取り戻したい中心市街地

児童虐待の対応は

答 要保護児童の情報共有を行なう

問

児童虐待のニュー

スが連日報道

されており、行政機関

の連携不足が指摘され

ている。わが町の対応

を伺う。

答

緊急度の高い

ケースは児童相

談所に連絡する。また、

「要保護児童対策地域

協議会」を定期的に関

催し、要保護児童に関

する情報共有等を行

い、必要に応じて実務

者ケース会議を行うこ

とになっている。平成

20年度以降6回開催し

ているが、最悪の事態

となったケースはない。

問 想像を超える事

件が多発してい

る。子育ての性善説を

疑う想像力も必要と考

える。スクールロイ

ヤーとの連携はどうか。

答

専門家の意見も

聞きながら対応

只見の食と農にふれて



朝日小学校 6年
わた なべ しゅう
渡 部 柊

昨年度、総合的な学習の時間で「只見の食と農」について学びました。

農家の方に米作りについて一から教えてもらい、もち米を作り、その米を甘酒にしました。できた甘酒は、只見の食について調べてまとめたリーフレットと一緒に、雪まつりのときに配りました。おいしい只見町の食べ物を、町外の人たちにも伝えることができてよかったです。

これからも、大好きな只見町をたくさんの人に知ってもらえるようにPRしていきたいです。

只見町の未来について



明和小学校 6年
はし かわ こ ひろ
橋 川 小 絢

私は、自然がいっぱいの只見町、そして只見線が大好きです。でも、只見線はまだ復旧していません。

私が大人になるまでに復旧すると聞いています。観光客をたくさん乗せて走る只見線。私も友人を連れて一緒に乗りたいと思っています。観光客がたくさん来れば、只見のよさが分かり、只見に住みたいと思う人もいます。それをきっかけに、人口が増えてほしいと思います。私も、将来只見に関わる仕事につきたいと思っています。

編集後記

町政は、町民が主役で、町民の意見をどれだけ予算に反映できるかが議会の実力です。平成31年度予算が可決されましたが、住宅整備の促進は、昨年同様の意見が付されました。これは議会が住民から受けた声を予算にしっかりと反映させることができなかつたことになります。今後委員会審議を通じてしっかりと掘り下げたいと考えます。

(目黒 仁也委員)

発行責任者

議長 齋藤 邦夫

広報広聴常任委員会

委員長 目黒 仁也

副委員長 目黒 道人

委員 藤田 力

大塚純一郎

山岸 国夫

鈴木 好行